令和8年度　北島町重点対策加速化事業補助金

事業者向け

再エネ・省エネ設備等の導入を補助します！

ゼロカーボンシティ きたじま

【申請期間】　令和8年4月16日(木)～令和9年1月15日(金)

★先着順とし、予算がなくなり次第、終了とします。

【事業の流れ】

申請 → 審査 → 交付決定※ → 事業着手（契約・工事開始） → 事業完了（工事完了・支払） → 実績報告 令和9年2月19日(金)まで

※必ず、町の「交付決定」を受けてから事業に着手（契約・工事）してください。

【補助対象事業】

対象経費：設備費(新規設備の購入、運搬等に要する経費)、工事費

太陽光発電設備

補助額：**5**万円/kW

ソーラーカーポート

補助率：対象経費の**1/3**

＜主な要件＞
・FIT/FIP制度の認定を取得しないこと
・発電する電力のうち30%以上を申請者自らが消費すること
※申請者の自家消費分を含め発電する電力のうち50%以上を徳島県内で消費すること

蓄電池

(本事業で導入した太陽光発電設備の附帯設備に限る)
※前年度までに導入した太陽光発電設備も対象

補助額：対象経費の**1/3**
上限額：213.3万円

＜主な要件＞
・停電時のみに利用する非常用予備電源でないこと
・目標価格※以下の蓄電設備となるよう努めること
※目標価格は蓄電容量により異なります。詳細はHP等でご確認ください

電気自動車（EV・PHV）

補助額：
蓄電容量×**2**万円+**30**万円

上限額：CEV補助金の銘柄ごとの補助交付額+30万円

＜主な要件＞
・再エネ由来の電力（再エネ発電設備と接続、再エネ電力の調達等）から充電すること
・「CEV補助金」の交付対象銘柄であること

V2H（充放電設備）

(申請者本人が使用するEV/PHVの付帯設備に限る)

補助額：対象経費の**1/2**
上限額：60.5万円/件

＜主な要件＞
・「CEV補助金」の交付対象銘柄であること
・再エネ由来の電力で充電すること

高効率機器

(空調設備、給湯器、照明(LED))

補助額：対象経費の**1/2**

上限額：空調、給湯　100万円/件
照明(LED)　50万円/件

＜主な要件＞
・空調、給湯：既存機器より30%以上の省CO_2効果があること
・照明(LED)：調光制御機能を有すること

対象設備の施工を**北島町脱炭素化設備取扱登録事業者**にお願いすると各補助額に**10万円**/件の上乗せ補助が受けられます！！
※蓄電池、V2Hは対象外

登録事業者の情報はこちらから➡

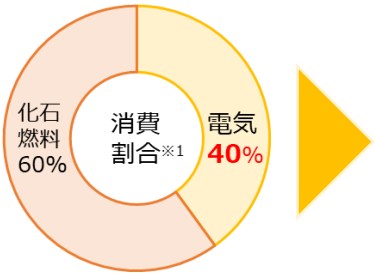
※同一の補助対象設備に対して、他の補助金との併用はできません。ご不明な場合は、お問い合わせください。

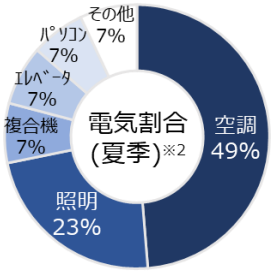
事業者が脱炭素に取組むメリット

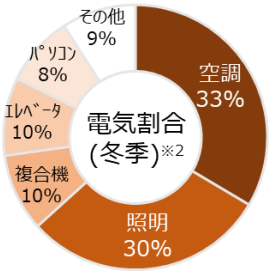
ランニングコスト
- 削減ポテンシャルを検証、プロセスの改善によりコストを削減
- 外部から購入するエネルギーを減らし、コストを削減

競争力の向上
- 取引先企業として選ばれやすくなり、新規の取引先開拓にもつながる
- 企業イメージ、認知度の向上による売上増加
- 製品単位の排出量の見える化されることで、製品の差別化が可能

事業者（事務所やオフィスビル等）のエネルギー消費状況







エネルギー消費
約40%が電気
電気では
60%以上が**空調と照明**

※1 北島町地球温暖化対策実行計画 区域施策編より
※2 経産省「省エネメニュー 事業者の皆さま（夏季、冬季）」https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/media/）より

削減イメージ（月間電気使用量が4,000kWh程度の小規模オフィスの想定）

蛍光灯をLEDに交換すると

削減電気量 (kWh/年)※1	削減電気代 (円/年)※2	削減CO_2 (kg/年)※3
7,200	▲216,000	▲2,664

※1 年間消費電力48,000kWh、照明による消費25%、LEDによる削減60%
※2 電気代単価30円/kWh ※3排出係数0.370kg-CO_2/kWh

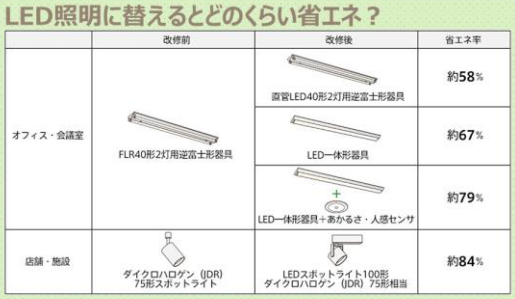
太陽光発電（25kW）を導入すると

想定発電量 (kWh/年)※1	昼間使用量 (kWh/年)※2	削減電気代 (円/年)※3	削減CO_2 (kg/年)※4
30,660	28,800	▲864,000	▲10,656

※1 設備利用率14% ※2 年間使用量(48,000kWh)の60%
※3 電気代単価30円/kWh ※4 排出係数0.370kg-CO_2/kWh

他にも太陽光発設備には、以下の効果も期待できる。
・災害時の電気確保！
・事業への影響を緩和！

LED照明に替えるとどのくらい省エネ？



出典：環境省ホームページより（https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/akari/build/index.html）

ガソリン車をEVに乗り換えると

燃料(電気)使用量※1	削減燃料代 (円/年)※2	削減CO_2 (kg/年)※3
ガソリン車:500L EV:1,250kWh	▲52,500	▲698

※1 年間走行距離10,000km、燃費20km/L、電費8km/kWh
※2 ガソリン代180円/L、電気代単価30円/kWh
※3 排出係数2.32kL/t-CO_2、0.370kg-CO_2/kWh

余剰電気でEV充電すると、以下の効果も期待できる。
・▲37,500円/年の電気代
・▲463kg/年のCO_2削減
更に、V2Hがあれば、
災害時の電源確保に！

補助金申請までの流れ

① 申請書および添付書類をHPからダウンロード
https://www.town.kitajima.lg.jp/docs/5501524.html

② 申請書・添付書類に必要事項を記入およびチェックリストを確認し必要書類を準備

③ 提出先まで提出（郵送または持参）

ゼロカーボンシティ きたじま
Zero Carbon City Kitajima

申請前には必ず補助事業の手引きや要綱で**要件を確認**してください。
不明な点がある場合はいつでも問い合わせてね！

← 補助事業HPはこちらから

【申請書提出先】
北島町役場環境課
〒771-0285
徳島県板野郡北島町中村字上地23-1

【お問合せ先】
北島町重点対策加速化事業補助金事務局
Tel：080-5888-7361
Mail：kankyo-hojo@kitajima.i-tokushima.jp
受付時間　9時～12時、13時から17時まで(土日祝除く)

※問合せは、㈱四電技術コンサルタント（北島町委託）が対応します。なお、回答には１週間程度要する場合があります。